



「家族で支える」

設計・監理 建築工房くらし 中山裕里香

【データ】

作品名：「家族で支える」
 所在地：岡山県美作市
 用途：住宅
 設計監理：建築工房くらし 中山裕里香
 施工：株式会社イマゾン 長畑健二
 建築面積：増築部分 69.85㎡
 延床面積：増築部分 69.85㎡
 構造規模：木造平屋建て
 工程：（設計・施工期間）2009年4月～8月
 外部仕上：モルタル 釉薬瓦一部金属葺き・ガラス瓦
 内部仕上：珪藻土・クロス仕上げ

【建築概要】

全介護になった当事者を自宅で介護するために、生活していた離れを建替えて母屋に増築した。介護者は他の家族の世話もあるので、平屋として全てに目の行き届く間取りとし、専用浴室を設けた。又、母屋の浴室を利用する事と母屋からの手助けを得られやすいように廊下で接続した。

天井走行リフトと車椅子で移乗やリハビリを図って介護者の負担を軽減し、外出と遊遊を考えると北の出入りからは車椅子でスロープを利用し、南の掃きだしからは天井走行リフトを軒先まで伸ばして外へ出られるようにした。

なるべく自然の状態が良い環境にするために、自立循環型住宅の地熱を利用した基礎内断熱工法で床に換気口をつけて床下と室内の空気の循環をはかり、室内の壁は調湿作用のある珪藻土を採用した。南面を大きく開口して南北の通風を良くし、ペアガラスで断熱効果をはかり、ベッドのある北のリビングは二重にガラスを入れた天窓で採光をとった。

訪問看護やヘルパーの訪問があるので、同室に手洗いのための洗面とトイレを設けた。

専用浴室はベッドからすぐに移動できるようにリビングに隣接させ、汚物流しと洗濯機を設置し、浴槽は可動式にして両サイドから介助できるようにした。両サイドの壁にシャワー水栓を設けて、湯を早く溜め浴槽の両サイドから使用できるようにした。

福祉的な部分は「手すりの会」（高齢者・障害者の住宅改修のプランを 建築・医療・福祉の分野の専門職が集まってボランティアで行う団体）に相談をかけた検討をした。



南のはき出しの外へ用意した車いすへ、スリングを掛けて降りる（上下移動は電動で行う）リフトは持ち出しがで、200キロまで耐えられるメーカーを選んだ



「手すりの会」の会員が試してみる・・・スリング（吊り具）に乗ったまま 外壁から持ち出しの走行レールで、南のはき出しから外に出ているところ（平行移動は手動で行う）



普段の南のはき出しの窓枠の状態
 サッシ戸がスムーズに動くために
 着脱式の窓枠をはめている



リフトが通る時の状態
 着脱式の窓枠はとっているところ



【設計者の顔】
 建築工房くらし 中山裕里香
 福祉住宅を手がける



【施工者の顔】
 株式会社イマゾン社長 長畑健二氏
 注文住宅・リフォーム・
 不動産を営む



【現場監督者の顔】
 脱着式窓枠を製作した
 宮田洋平君

【建て主から見た作品】

交通事故で寝たきりになった長男を自宅で介護するために、改装を考えていました。介護福祉に理解の無い工務店にはお断りする気になれなくて、あちこち調べている際に「手すりの会」の中山さんに出会いました。遠方にも係らず、何度も足を運んでいただき介護・看護のし易さを最優先に考えて設計をしていただきました。入浴のための簡易浴槽、天上走行リフトの設置、居室から出入りできる車イス用のスロープ等適切な提案を頂きました。敷地面積が狭く、制約の多い設計だとは思いましたが、介護しやすい建物になっており、十分満足しています。